

学び合い、高め合いの教育の追求

## 全国協同学習研究会会報 2004年度 3号

発行日：2004年12月8日

事務局：  
  
  


2005年2月18日(金)

神戸大学附属住吉中学校

会報第2号でお知らせした全国協同学習研究会第36回大会の案内ができました。同封いたします。当初の予定通り、来年2月18日に神戸大学附属住吉中学校で開催されます。「広めよう、協同の理念！ 深めよう、協同の実践！」を大会テーマとして掲げました。事務局を担当いただいた神戸大学発達科学部の伊藤篤さんをはじめとする皆様のご努力に感謝します。神戸大学発達科学部、兵庫県教委、神戸市教委の後援もいただいています。多くのお仲間をお誘いのうえご参加ください。

今回は住吉中学校の授業公開をいただき、その後、それらの実践を元に教科別に4つの分科会を持ちます。さらに、協同学習の実践的取り組みに向けての2つのワークショップも設けました。実践者相互、研究者相互、実践者と研究者相互がともに高まり合うことのできる大会にしたいと思います。神戸を楽しむ懇親会も準備いたしました。そちらもぜひご参加ください。

なお、先にご案内しましたが、大会翌日に予定していましたがアメリカの協同学習研究者デイヴィッド・ジョンソン氏の講演については日程が合わず流れてしまいました。別の機会を考えています。

また、翌日には神戸大学発達科学部で役員会を開催いたします。常任委員、委員、顧問の方々にはぜひご予約ください。

## 日本協同教育学会（JASCE）第1回大会報告

中京大学 杉江 修治

11月19日（金）、久留米大学御井キャンパスで日本協同教育学会第1回大会が開催されました。総会と大会で役員、会則、事業計画などが承認され、いよいよ本格的な出発となりました。会長は久留米大学の安永悟さん、副会長は創価大学の関田一彦さんが引き受けてくれました。お二人とも全協研の会員ですが、さらに全協研からは荒木正志、石田裕久、加地健、杉江修治の4名が理事として入りました。学会は英語名のJapan Association for the Study of Cooperation in Educationの頭文字をとってJASCE（ジャシー）と通称されます。

役員の構成は多様で、顧問の高旗正人さん(中国短期大学)は広島大学の末吉悌次さんの小集団学習の流れをくむ研究者で、自主協同学習の提唱者です。広島大学の小集団学習の流れは「全国個を生かし集団を育てる学習研究会(通称「個集研」)」という組織で、主に西日本を中心に幅広い実践研究活動を繰り広げています。この個集研からは山口県立大学の相原次男さん、関西学院大学の南本長穂さんらが入っています。他に、看護教育の山本富士江さん(長崎シーボルト大学)、英語教育の中川ジェーンさん(愛教大)、ディバートの鈴木克義さん(常葉短大)らもいます。会員はさらに多様で、小、中、高、大の実践者、教育社会学、教育方法学、認知心理学、社会心理学、教科教育法の研究者、さらには実業界での教育にかかわる方々、マスコミ関係者など、これまでにない構成となっています。

バズ学習を出発とする全協研の理論と実践はこの学会でも中核を占めるものであることは確かですが、一方で、さまざまな刺激、情報を得られる機会ができたことも確かです。

久留米大学の学生の参加を除けば80名ほどの参加者でした。全協研の重鎮、越智昭孝さんが「発足を見届けにゃあいけん」と広島から参加いただいたのは恐縮でした。正会員数は現在ちょうど100人程度ということです。

大会は前名古屋大学教授で現在は久留米大学に移った、社会心理学者、原岡一馬さんの講演で幕が開きました。「集団の場における個人の動機付けと行動」というテーマで、集団場面が個人にどのように意識的、無意識的に働きかけるものなのか、これまでの代表的な実証研究を順につないで解説されました。社会心理学が見つけた見解が実践の裏づけとなっていることを発見された参会者も多かったことと思います。

続いて分科会でした。時間は2時間。なかみは次の通りでした。

- 1 協同教育と協同学習 関田一彦(創価大学)
- 2 看護教育と協同学習 山本富士江(長崎シーボルト大学)・太田浩子(佐世保医師会)
- 3 英語教育と協同学習 尾崎秀夫(創価大学)
- 4 少人数授業と協同学習 杉江修治(中京大学)

1では、学会名が協同教育と銘打っていることとかかわって、協同学習という図式をどのように捉えるのかを関田さんがレクチャーし、後半は協同学習の手法によって内容の理解を深めるというものでした。

2は、LTD という討議を取り入れた協同学習の手法を看護教育にどのように取り入れたか、そしてその成果はどうかという報告を元に、参加者と意見交換を行うというものでした。看護教育では、その学習の過程に協同を取り入れることに重要な意義があるという、実践化への考えが背景にあることも十分説明されました。

3は、アメリカの協同学習理論の中でも広く実践化がなされているスペンサー・ケーガンによる協同学習の手法であるケーガン・ストラクチャーを大学の英語教育で実践した報告です。とりわけペア・グループワークの質を高める手法としてこれを導入し、その成果と可能性を議論しました。なお、先に名前をあげた中川ジェーンさんは、愛教大でケーガン・ストラクチャーに加えて彼女の独自のアレンジを加えた授業を実践することで、大学内で学生による授業評価で最高の評価を得たということでした。

4は、教育改革の軸に授業改善を置き、実質的に授業を変えてきた犬山市の少人数授業で協同学習がどのように受容され、実践化され、成果をあげたかという内容で杉江が話題提供をしました。

最後は研究発表のセッションでした。12件の研究発表がなされました。興味深いのは、発表者が前に出て、スピーチをするという形式ではなく、ラウンドテーブルの設定、すなわち、参加者が輪になって座り、特に司会者も設けずに、その中で発表者が自由な形で発表するというものでした。リラックスした形で自由な討議が可能なスタイルを取ったのです。研究発表と意見交換は実に熱心に行われ、時間延長の会場が相次ぎました。発表のリストだけあげておきましょう。

長濱文与・安永悟 協同による創造的読み

鈴木克義 100名を対象とするディベート授業

Fushino Kumiko The relationship between communication apprehension in group work and orientation toward group work in college English classroom

杉江修治 協同学習研究者による習熟度別指導の実証的理解

永峯卓哉 看護学概論にLTDを導入して

安永悟・関田一彦・甲原定房・長濱文与 協同作業に対する認識尺度の開発

Kimura Harumi, Fusino Kumiko Cooperative principles and techniques in translation work: challenges and rewards

Ohtake Mari, Kimura Harumi A road to a learner-centered program in the LL

岡田憲治 協同学習を導入した「情報化教育法」の授業設計

安永悟・甲原定房・吉山尚裕 集団による情報共有の促進化方略(2)

Gehertz 三隅友子 協同学習と双方向学習—交流セッションと教師

関田一彦 協同学習で学生の心理的学習態度を向上させる工夫

研究発表の討議が長引き、懇親会は間に移動時間があったにもかかわらず 15 分以上遅れて始まりました。久留米大学の薬師寺学長をすいぶん待たせてしまいました。和やかに、交流の密度濃く懇親会を終え会の成功を祝い合いました。

来年は東京で第 2 回大会が予定されています。

### 個集研第 31 回大会開催さる

JASCE 大会の翌日と翌々日 2 日にわたって福岡市教育センターで個集研第 31 回大会が開催されました。全協研からは安永、関田、杉江らが参加しました。

福岡の実践の基調提案、基礎講座、実践を語るタベ、実践上の疑問に答える(フロアーセッション)など内容は豊富でしたが、とりわけ福岡、熊本を中心に 19 の実践報告がなされ、いずれも実質的な実践者の努力がうかがえる素晴らしいものでした。来年は熊本県山鹿市で開催されるとのことです。期日をはじめとする詳細は未定です。この研究会のホームページ <http://ww6.enjoy.ne.jp/~juntendomt/> もぜひチェックしてください。

#### 事務局からのお願い

会報第一号でのお願いで会費納入いただいた方、ありがとうございました。  
会費未納の方、会費納入よろしくお願ひします。

1 年分 2000 円です。

会の財政はきわめて逼迫しています。

昨年度未納の方は 4000 円の納入をお願いいたします。

郵便振替 □座番号：名古屋前山郵便局 00800-8-166589  
□座名称：全国協同学習研究会

#### 事務局からもうひとつ

協同学習のよさをぜひ広げたいと思います。どうぞ、多くの方をこの研究会におさそいください。

#### 事務局からさらにひとつ：e-mail アドレスをお持ちの方へ

この会報並びに様々なご案内を e-mail で送ってもかまわないという会員の方々は、空メールで結構ですので事務局宛 XXXXXXXXXX、アドレスをお教えください。経費節減という事務局の勝手なお願いですが、ご協力いただければありがたく存じます。